

## 不正支出、総額約1億円に 前理事長を解任

毎日新聞 2016年3月7日 21時29分 (最終更新 3月7日 23時03分)

社会 速報 話題



前理事長らの不正支出について説明する嘉悦学園の佐野陽子理事長＝東京都小平市の同学園で2016年3月7日午後2時13分、木村敦彦撮影

[PR]



事業開始キャンペーン実施中  
GMOあおぞらネット銀行

学校法人・嘉悦学園（東京都江東区）の不正支出問題で、学園側は7日、学園創始者のひ孫で前理事長の嘉悦克（こく）氏（76）とその家族が2011年4月～昨年12月、総額約1億円を学園から不正に受け取っていたと発表した。学園は返還を求める方針で、昨年12月に嘉悦氏の理事長職を解任した。

学園によると、嘉悦氏は業務目的といえない出張や私的な会食といった費用約4600万円を「渉外費」などの名目で不正に使った。

また、勤務実態がないのに「特別顧問報酬」などとして、嘉悦氏の妻（74）に約3900万円、嘉悦氏の母（昨年死去）に約1400万円がそれぞれ支払われていた。息子で前常務理事の康太氏（44）にも「渉外費」名目などで約110万円が支出されていた。

この日の記者会見には佐野陽子理事長らが出席し、創業家による同族経営が規範意識の欠如につながり、不明朗な決済が行われる原因になったと謝罪。学内外の委員で構成する「改革委員会」を設置し、創立者一族を法人運営から外すなどの再発防止策を示した。

嘉悦氏はファクスで「今回の問題は私の不徳のいたすところで、創業家の者としてごんきに堪えない。誠意をもって返納する」とのコメントを発表した。

文部科学省は昨年9月、関係者から不正支出に関する情報提供を受け、学園に調査を要請した。学園は11月に第三者委員会を設置して調べていたが、毎日新聞が12月、学園が嘉悦氏らに対し約5000万円を不正支出してきたと報じ、表面化した。

Timeline

13

0